

# Offshore

2,3  
合併号  
1986

社団法人 日本外洋帆走協会発行 No.132/300円

昭和61年3月15日発行（毎月1回15日発行）昭和52年7月21日第三種郵便物認可



うれしいグアム島上陸  
第2回ジャパン〜グアムレース  
撮影：白崎謙太郎

# 〈座談会〉

## 第2回 ジャパン グアムレース を振りかえって

### ■出席者■

|         |       |
|---------|-------|
| レース委員長  | 大儀見 薫 |
| レース副委員長 | 白崎謙太郎 |
|         | 児玉 萬平 |
| レース委員   | 石井 竹彦 |
|         | 多田 雄幸 |
|         | 服部 一良 |
|         | 坂西 正明 |
|         | 畠中 正人 |
|         | 片山 恭子 |
|         | 村上 由美 |
| 事務局     | 歌田 道教 |
| S P N   | 志村 洋一 |
|         | 岡田 豪三 |
|         | 上谷 知範 |
| 明通K & E | 竹村 浩一 |

写真：白崎謙太郎



**大儀見：**前回の経験を踏まえて参加者の声を聞きながらレースを組み立てていったわけですが、皆様のおかげで及第点以上のレース運営ができたのではないかと思います。実行委員長としてお礼を申し上げます。何回かのミーティングで申し合わせたようにこれで終わったということではなくて、これから新しいものを造っていくための出発点ということで今回の経験をいかしていきたいと思っています。皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。前回と比較してどなたか。

**坂西：**前回と多少ちがいましたのはマリアナズヨットクラブの受け入れ体制が前は手さぐりでとりあえずはじめてみた。担当する人も1人か2人でしたが2回目なのでこの程度のことをやるんだということが予想できたので休みも取って下さっていました。

**大儀見：**前はチャックさん一家が全部やって下さったということで、今回はコモドルをはじめマリアナズヨットクラブ全体が組織として対応して下さいました。

**岡田：**1回目比べて2回目は非常にやりやすかったし、スムーズにいったと思います。6隻でもローテーションを組んでもコミッティーが眠らないでがんばらなければならない状態でしたので、今後考えていかなければいけないと思いました。

**大儀見：**全体の状況を考えながら反省点等をいただけたら……。まず、マリーナ等のヨット設備のないところからスタートを切るということのむずかしさが一番の問題ではなかったかと思います。

**志村：**私が考えていた以上に横須賀スタートが大変だったもので、その点ではNORCに完璧に近い御協力をいただきまして、スポンサーは大満足なんですけれど、今後横須賀で続けていくということは大変だと身にしみて感じております。マリーナ設備のない所でレースを行なったわけですが、天候等が良かったので助けられたなと思っておりますし、今後NORCの方であの場所では出来ないといわれてもしかたがないと思います。

**石井：**関東以外の船がきていただいても安心して停泊できる泊地を確保しておかないとだめだと思いますね。今回は大西が吹かなかったから良かったですけどそれでも〈ララ〉が走錨してしまいました。出国手続で船の方の税関と個人の出国手続をごっちゃにしている船が多くて28日の昼に対応したんですが、特に出国手続の中でクルーリストもローマ字で書いておかないといけませんし、その辺の初歩的なところからやっていかなければいけないようですね。

**多田：**横須賀のベースがかりられないものでしょうか。

大儀見：準備段階で観光協会の専務理事の案内で基地の中も見てきたのですが、セキュリティが非常にきびしい状態でとてもクルーが出入りするのは無理だと判断したわけです。我々としてはこのような大会をやっていくことによって横須賀市に公共マリナを造ってもらえればと考えております。

反面、東京湾内でスタートするということで海上保安庁の方から前日まで、久里浜沖までいってスタートするように、と申し入れがあり泊地と同様大きな問題だったわけです。

坂西：1400マイル走るレースのスタートとしては観客が淋しいですね、もっと盛りあげてあげた方が……。

石井：第1回目の時のように見送りレース等が必要ですね。少なくとも20～30隻のヨットが周囲をかこんでスタートさせてあげたいですね。

大儀見：ヨットを送り出すことについていろいろアイディアを出したはずなんですけれど、スポンサーサイドの対応が今一つだったと思いますね。たとえばウォークで買物をしていただいた人の中から抽選で何名かスタート観戦に招待するとか、レースの進行状態を掲示板等で横須賀市民に知らせるとか、フィニッシュタイムを当ててもらって当たった人をグアムに招待するとか。

石井：もっと市民をまきこんだ大会にしたかったですね。その意味でもう少し早く実行委員会にコミッティーも参加してやるべきでしたね。

坂西：今回のグアムレースだけではなくて全日本も含めてのことなんですが、一般から見えてますと新聞に出ていないようなレースに出ていく人の気がしれない。要するに周囲から理解されていないわけですね。休みも取りにくい。休んでどこに行ってるのと言われてヨットレースに行っています、と言っても新聞にもどこにもものっていないと、休みも取りにくくなります。そうすると船も集まってこない。

歌田：次にやっていただく人々の為にも苦労した点等



無事のフィニッシュを冷たいビールで祝う

を申し上げますと、横須賀市、特に港の陸上と港湾の使用許可がいただけるまでが大変でした。市長様にお会いして大会の主旨を伝えましても、その時に秘書課の方にもかならず伝えておかなければならないと思います。秘書課に伝えますと体育課、港務課にも話が回り、後援名義の窓口である体育課、港湾使用許可の港務課にも伝ってスムーズに行くと思います。秘書課の方に十分話が伝わっていなかった為に一度港湾の使用を拒否されています。また、市長様よりグアム政府の方へのメッセージも一度は出さない（理由はいろいろあったのですが）、ということになり再度のブッシュで出していただいたという経緯があります。

泊地についてはハーバー及びクラブハウスのあるヨットハーバーからスタートしないとむずかしいと思います。1つは今回の新港泊地が十分に安全であったかどうか、また、グアムのガバナ等VIPが来ていただいても休息していただくスペースもないという状態でした。泊地は12月15日から12月21日については油壺特別泊地、12月22日から12月29日まで横須賀新港をお願いしておきましたが、スタート2～3日前まで油壺泊地に係留していました。先ほどの見送りの船もヨッ

## JAPAN GUAM YACHT RACE

Start : 29th December 1985, 1100

| Cl | Sail No | Name of Yacht | Type   | Rft  | T.M.F. | Owner      | 着順 | (J.S.T)<br>フィニッシュ時刻<br>月 日 時 分 秒 | 所用時間<br>日 時 分 秒 | 修正時間<br>日 時 分 秒    | 総合<br>順位 |
|----|---------|---------------|--------|------|--------|------------|----|----------------------------------|-----------------|--------------------|----------|
| I  | 3240    | LALA          | V&O 45 | 34.7 | 1.1425 | S.Yamazaki | 3  | 1 7 02 34 54                     | 8 15 34 54      | 9 21 09 43         | 4        |
|    | 3339    | KAZAMIDORI    | TAK 43 | 41.6 | 1.2219 | M.Sakaki   | 1  | 1 6 09 30 21                     | 7 22 30 21      | 9 14 00 04         | 3        |
|    | 3420    | MARISHITEN    | NEL 56 | 52.7 | 1.3306 | K.Takeda   | —  | (リタイヤ)                           | (小笠原へ入港)        | (トラブルは<br>フォースター?) | —        |
| II | 2000    | GEKKO V       | FRE 41 | 31.1 | 1.0962 | S.Namiki   | 2  | 1 6 23 27 25                     | 8 12 27 25      | 9 07 07 32         | 2        |
|    | 2235    | NOMI III      | DOU 42 | 32.0 | 1.1082 | A.Nomura   | 4  | 1 7 12 09 33                     | 9 01 09 33      | 10 00 39 20        | 5        |
| IV | 2002    | ZOO           | PION10 | 24.7 | 1.0032 | H.Koshou   | 6  | 1 8 11 51 41                     | 10 00 51 41     | 10 01 37 55        | 6        |
|    | 3413    | Mr. MOHRAN    | YOK 32 | 23.1 | 0.9772 | T.Murakami | 5  | 1 7 20 33 34                     | 9 09 33 34      | 9 04 25 00         | 1        |

トクラブからのスタートでしたらヨットクラブのメンバー艇が見送りにも参加して下さると思います。

**大儀見**：受け入れサイドのグァムとスタート地の横須賀市では対応にかなりの格差があったと思います。

**片山**：今年にはいりまして特泊協の事務局で東部漁港事務所に行きました折、たまたまレースの話と第1回目が三浦・グァムヨットレースという広告がコンチネンタルの機内誌にのっていたことを話したら、三浦市の方でも協力をしますという良いコメントをいただいたと聞きました。横須賀市の方でも協力をなさったと思うんですけど三浦市の方でも好意的な意見があったと聞いています。

**石井**：先に国際交流のフェスティバルを行なった時に三浦市の市長さんが今後こういうイベントをヨットの人々が行なうのであれば協力させてもらいたい。必要があれば魚市場も解放いたしますとおっしゃっていました。

**児玉**：今回の大会を見ていてウォーク横須賀様はどのように評価なさっていたんでしょうか。スポンサーメリットがあったのかどうか非常に疑問におもっています。SPNの方で何か情報をいただいておりますが、これがまず大前提になるのではないかと思います。

**志村**：ざっくばらんにお答えさせていただきますと、1つにはインターナショナルな国際レースであるというスケール感、レースを行なうのはNORC、このスケールメリットをものすごく感じている。イメージですね。実際の艇数で見ますと基本的には10隻は参加してほしいというのがクライアントの希望だと思います。パブリシティに関しては明通様はいただいて紙媒体に関しては告知がジャパン・グァムレース、主催日本外洋帆走協会と、露出度が大きかったのですが、これはこれで良かったのですがクライアントの名前がのらなかったのが、パブリシティとして国際レースの広がりやをそれなりには評価しているということです。テレビの媒体としてはSPNと明通様で行なったテレビ朝日の番組の中でワンショットクライアントの名前をのつけました。これに関しては我々が見ても気づかないのですがクライアントが見ればきずくと、その辺でも大変な評価をえている。これが10隻以上になるといろんな意味で皆様の要望がかなえられるという気がします。

毎年または1年おきにこの季節感あふれるレースができれば大変すばらしい。いろんな意味でヨットレースがスポンサーサイドから見てメジャーなものになる。すべての面で満足のいくレースになるのはもうすぐではないかなと、そのような気がします。

**大儀見**：参加艇数の話も出ておりましたが、当初9隻参加予定が無線の開局が間に合わないということで7隻スタートとなったわけですが、今後参加艇を増やすということを考えて、その辺はいかがですか。

**多田**：BOC 世界一周レースの場合はSSBとアマチュア電線の2ウェイによって行なわれましたが、そういうのはどうなんですか、アマチュアの時間とSSBの時間をずらしてやりました。

**大儀見**：遭難した艇を何百マイルか戻って救助しましたね。

**多田**：あれはほとんどアマチュアでやりましたね、安全通信ということであればそのようにして出来るわけですね。

**坂西**：無線の方でいいますと、通信委員会の方針として無線は必要である。SSBを伸ばしていく、アマチュア無線では行なわないという大前提がありますので、それを超えた質問には答えられないことになっています。アマチュアがいいか、SSBがいいかという問題はまた別の問題でして……。

**多田**：いい悪いという問題ではなくて、2ウェイで行なった方がスムーズにいくという問題です。

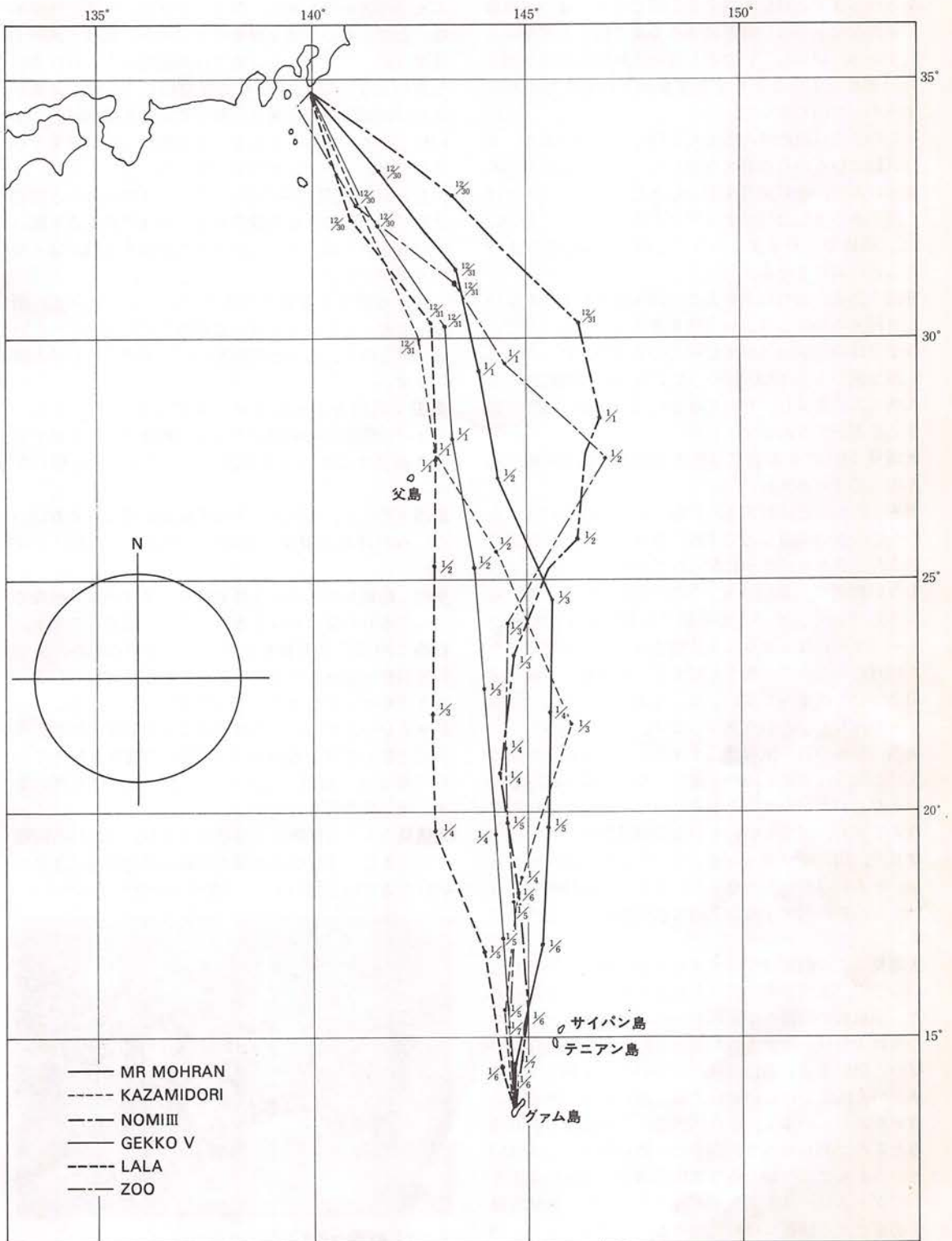
**坂西**：通信委員会としてはアマチュア無線では交信を行なわないという大前提の方針がありますので。

**多田**：別に「憲法」を決めなくてもよいのではないのでしょうか。通信委員会の本部の組織としての考えかたなり方針はあるかもしれないけれど、当該レースの運営については、勿論そういうものを尊重できればしていくことは当然なんだけれども、実際のレースの運営については実行委員会が決めていくということが考え方として筋が通るのではないかなと思うんです。

**坂西**：今回の問題で最後までSSBでいくのかアマチュアで行くのかははっきりしなかったことが一番の問題です。たとえば2隻出てこなかった船があった。そのうちの一隻についてはSSBで準備をすすめていたわけですが。しかし事務局の方に問い合わせると無線なんかいらぬという答えが1つ、アマチュア無線でいいんだという答えが1つ、SSBでなければいけませんという3つの答えが帰ってくる。結局どれがほんとなんですかということになるんです。結局迷っている間に時間切れになってしまった船があります。もう一隻に関しては何をやっているのかさっぱりわからん——陸送してくるという話があります。だけでも無線機を用意しているという話は全然聞いていません。早い時間に何でいくということをしてやるべきだと思うんです。

**大儀見**：SSBでやりましょうというのは土壇場まで決まらなかったことではなくて実行委員会としては、はっきりした結論を出した問題ですね。無線がなくてもいい、アマチュアでいいということは前段の議論の中で十分出たんだけど、やはりSSBだと決まったわけですが。アマチュアはライセンスを持っている人がレースの運営とは別に独自に解決して使用するということはレースとは関係ないわけで、ハム局の人の責任においてアマチュア無線の規定に抵触しないで行なうことについてはレース委員会は関知しない。ただし傍受

# JAPAN・GUAM RACE 航跡図



するということは結構なことではないかと、そういう交通整理は実行委員会としてはできた。

歌田：私の知っている範囲で申しますと事務局がアマチュアでいいよ、といったことはありませんね、なぜかと申しますと通信委員会との話で8月一ぱいで無線の申告をなさらないと許可されるまで約3ヵ月かかりますから、早くしていただかないと無線の開局が間にあいませんよ、という葉書を参加されると思われるオーナーに出しました。

このことは坂西さんもよくご存じだと思います。8月以前にいろいろな答え方をしているかもしれないんですけど、その葉書を出したあとについてはさきほど話のありましたアマチュアでやるよ、なくてもいいよ、SSBでやりますということ事務局で申し上げたことはありません。

多田：過去のあつれきをここで言ってもしょうがないんで将来の為によりよい方法を考えるということで、今までは沿岸レースが主だったのですが、だんだんと距離が延びるとBOCがやっているように国際的な勢うもありますし、それでなければできない状態も起きてくると思うんです。

大儀見：BOCの場合には帆走指示書に両方使用すると書いてありますね。

児玉：このことは坂西さんに言っても事務局に言っただけの問題なんですね。なぜなら8月の時点で帆走指示書がオーナーに配られていないとどうしようもない問題だと思います。BOCもそうだし、すでになされていて、その上で話だと思いますが私がコミティーになるようにと依頼されたのが9月だったか10月だったかだと思うんですが、その時に無線の運用について決まっていなかったか、本来あるべき姿ではなかったんだらうという気がします。

坂西：なんの為に無線通信をするかという原則があるんだと思うんです。陸から離れた船となにか話をしたいんだと、ポジションを取るだけなら何でもいいうんです、何でもいいうのは語弊があるんですけど、出たポジションをどういうふう利用するか、あるいは彼らがどうしているか、得た情報をどういうふうに再利用するかを考えた方がいいと思うんです。

大儀見：この問題はリードタイムが十分になかったということ、児玉さんが言うとおりのスポンサーをからめた、出艇数の問題もからめたいろんな要因があるんで今後は十分リードタイムを取って行なわなければならないと思います。通信の問題については1朝1夕で解決がつく問題ではないといえると思います。考え方の違いがあるんですよ、これは事前に十分協議し割り切るところは割り切って、完全に一致しないと出来ないというもんではないだろうと思うので、今後の課題としてグアムレースの通信がどうあるべきか、継続審議を必要とする問題になっているという認識でよろしい

でしょうか。

石井：ロングレースの場合、通信委員会としてはこの周波数をいただいたという意識がある。使用する側としては2年に一回使うにはお金と時間と無駄が多すぎるという言い分もある。例えばグアムレースで無線がないとだめという筋を貫くべきなのか、私はスタート後2日間、フィニッシュ前2日間連絡がとれれば良いと思います。SSBを持って参加している艇が何隻かあれば無線連絡が出来る。持っていない艇もある。私個人としては60万円だして無線をそろえてグアムレースに出る気は無いね。

たとえばIORでもJORでもレースに出れると同じように、いろいろな無線の方法で参加できる道を開いてやらなければ、グアムレースに参加する艇が増えないと思います。

何でも買って参加できるスーパーオーナーと、頑張っただけでも買って参加したいオーナーもいるわけなので、もっと門戸を広げてあげてほしいと思います。

多田：通信がもっとうまく楽にできて、パブリシティの問題でも中間でどんどん新聞でもテレビでも発表できるような方法を作った方がいいと思います。

坂西：だけど、今回アマチュア無線を行なってもいいといったけれど現実に使用したのはないわけですよ。

多田：距離がだんだん伸びてゆくとアマチュア無線でとってもらわなければならないこともあるんですよ。

白崎：NORCの看板をおろしてでもやるのか、ある程度看板を譲ってでもするのか、看板は看板としていままですべてきたように守ってやるのか、それとこのグアムレースについてそれがどこまで必要なのかどうかだと思います。私は多少NORCの看板を替えてでも存続させるだけの値打ちのあるレースだと思います。通信の問題を含めて。

大儀見：大きな問題だとは思いますが、ほかにも問題があると思いますので通信の問題は継続審議にさせていただきます（次号へつづく）



チャート上の艇も次々アブラハーバーに……

# “南太平洋最新情報”

ヨット<MIRAGE>齊藤 孝

昭和60年に約1ヵ年にわたり、南太平洋の島々を航海してきて、色々な国で出入港をしてきました。それらの国に依って、それぞれ手続きが異っていましたが、これから行かれる方々に幾らかでも参考になればと思い、〈MIRAGE〉が行った所の手続きと燃料（軽油）の補給で特に問題が有った所について、国別にそれぞれ書いて見ます。

まず全般的な事について書きますと――

## （1）書類関係としては

イ、英文の船籍票は船籍の在る都道府県（水産課）で貰い、コピーをして置くといいでしょう。（中には入国の為に欲しいという国も有ります）尚、船籍票の無い船は、小型船舶検査機構の所で発行して貰えます。  
ロ、ネズミ駆除の証明、コレラの予防注射（イエローカード）も必要な国が有ります。  
ハ、検疫の為に申告書は必要で無い国も有りますが、必ず用意して置く事がいいでしょう。

クルー・リストは殆んどの国が2～3通で済みましたので、3通も書いて置けばいいでしょう。入国の時受け取らないで、出国の時にクリヤランスに付ける国も有りますので、入国の時に要らない国は、出国の時に使えば良いです。

二、前の国のクリヤランスは絶対に必要ですので、必ず貰って出国すること。

入国の際に出国の手続き順序を来た役人に教えて貰って置くと、出国の際にまごつかないで済みます。出国手続きは約半日かかると見ていた方が良いでしょう。朝、出港の時は、前日に済ませる事が必要です。但しクリヤランスはどの国でも24時間前には出ません。

（2）休日は土曜、日曜が休みの国が殆んどで更に祭日に掛ると、月曜日が休みとなります。注意して入、出港しないと、月曜日迄待つか、時間外費用を取られる事になります。勿論、上陸する事が出来ません。待っても手続きに来て貰えない所は、こちらから上陸して手続きをするようにします。尚、会話は全部英語で済みます。

（3）離島では本船（カーゴ、シップ）が長い間（1ヵ月に1度の時もあります。）来ないと、水まで無くなる所が有ります。（ツバル等）勿論、野菜、果物等も同じで、出来ればストアで何時頃入るか聞いておくか、見付けた時に買うようにします。

（4）燃料はドラム単位の所もあり、仲々、不便な所が多いので、ヨットで来たと行って、訳を話して買う事がいいでしょう。

（5）出入国などの時〈MIRAGE〉はヨットの写真入りのアマ無線のQSLカードを見せて、港の事務所で話をすると、割合に楽に話を通じました。

（6）アマ無線の交信はヨットの場合、割合に大目に見てくれます。（5）のカードで説明しておくといいでしょう。出来れば、英文のライセンスを貰ってコピーをしておき、テレコミュニケーションに行き、ライセンスを貰えばいいでしょう。パスポートの写しも必要です。大国でなければ直ぐ取得出来ます。

（7）入港時には殆んどの国がUHFの16チャンネルを使って港の事務所と連絡をしていますが、今、日本では許可がおりていません。出来れば早く許可が欲しい所です。ナウルで港の事務所で何故連絡をしないかと、叱られましたが訳を話して了解して貰いました。

全般的な事は以上です。次に各国の出入国時の手続きを述べます。

## ■小笠原、父島

出国：「外国往来船」への変更や船用品リスト等の書類を含めて出国の手続きを全部此处で済ませる事が出来ます。ただし免税品の無い場合に限りです。

入国：検疫と出入国手続きは完全に終了して、税関だけは本土の開港で受けるように、何時頃到着するか事前に連絡して、到着後電話をする様にして、到着する迄は未だ航海中という事になります。従って未だ外国往来船という訳です。

## ■サイパン

入国：日本の出港届がクリヤランスになるので、別に英文で書いた物を2通用意します。また、パーミットを事前に用意する必要があります。（\$10）有効期限が1ヵ月なので仲々大変ですが期限切れの時は追加でまた\$10を支払います。来るのは検疫官、出入国官、税関、警察、港管理者が次々に来ます。手続きを受ける場所は港管理事務所の前の岸壁です。（喫水約2m）パーミットが無い時は御承知の様に、罰金として高額の金を請求され、或る船は数百\$も取られた例もあります。

出国：港管理事務所で\$25支払ってクリヤランスを作成して貰い、入国の際のカードは出入国管理事務所に届けるだけで、出港の際は誰も立ち会わない。

追記：帰途、再度入港した時には、サイパン在住の久保氏にパーミットを取得して頂き、岸壁で手渡しして頂いた。10日前にアマ無線のオケラネットで連絡して期限切れの追加支払いをしないで済みました。但しその日は土曜なので時間外費用（検疫と税関に\$18をそ

れぞれ支払った。出港は同じでした。

#### ■トラック モーエン島

入国：来たのは検疫、出入国管理、税関、警察官でパーミットが無いと文句をいわれ、翌日出入国管理事務所で書類を作り、ポナベ（連邦なので主な事務所は全部ポナベで管理している。）に送付された。ポナベの出入国管理事務所に前もって手紙を出しておくが良い。

港管理事務所には岸壁のすぐ脇の修理工場の2階に行き届けるだけです。

出国：港管理事務所に行きクリアランスの用紙を貰い税関、保健、出入国の事務所にサインを貰う。その後港管理事務所のサインを貰う。皆事務所が別々なので大変ですが聞き乍ら行くしか無いでしょう。レンタカーが無いので困りますが街が小さいので歩いて行きます。出港の際、誰も立ち会いません。

追記：燃料はドラム（200 l）単位でないと買えないので少量の時は前田道路（日本の会社）で分けて貰えば良いでしょう。

#### ■ポナベ

入国：本船の岸壁に着けて港管理事務所に行き、電話で出入国管理事務所に連絡をして、船で待つと検疫、出入国、税関、警察官が来る。トラックと同じように事前に届けが無いと叱られて、翌日出入国管理事務所に行き正式な書類を作った。帰途また寄りたいと言った所、途中の国より手紙を出す様に言われた。

出国：港管理事務所書類を貰い、検疫、保健、出入国、港の各事務所でサインを貰う。但し出入国は出港時に立ち会うといって時間を決めて、立ち会った時にサインをして貰う。ポナベは広いのでレンタカーを借りて事務所に行く事になります。

追記：帰途にはフィジーより手紙を出しておいたのでスムーズにいきました。また、イエローカードの期限と有無について厳しいですから注意のこと。



①コスラエ島オカト港にて〈春風Ⅲ〉と会う。

#### ■コスラエ

入国：空港のあるオカレ港に入ったので、飛行機の来た時に空港に行き警察官に会って頼むと検疫、警察、税関、港官が来て手続きは完了となり、出入国は島の

反対側に行って事務所でスタンプを押して貰う。スタンプは記念という事で普通は不要との事。

出国：港管理事務所に届け出るとみな港長がサインを貰って親切にも持って来て下さる。出国時には誰も立ち会いません。

#### ■キリバス タラワ島

入国：港の築堤の外で錨泊して待つと検疫、出入国、税関官が来て手続きをして貰える。日本で3ヵ月有効のビザを取っていたので問題は無く済み、あとで港管理事務所に届け出る。築堤の中は奥水が浅く、また停泊料を取られるので波が何時も高いが外の方が良いでしょう。

出国：港管理事務所滞在中の費用の書類を作って貰い税関で支払う。（＄83）税関で書類を自分で作り、クリアランスを作って貰う。ただし土曜、日曜に出港する時には、時間外費用を当日出入国と税関官に支払って（約＄8）、立ち会いの上出港する事になります。

追記：燃料は港の脇に在るBPの事務所にヨットで来たのでドラム単位では買えないと言って分けて貰う。また、途中の島に寄らない約束をします。

#### ■ツバル フナフチ島

入国：本船の入る北側の岸壁でなく、南の方の造船所のスロープのある方で錨泊して、警察の中にある出入国事務所に上陸して行き、届けて船に戻ると検疫、出入国、税関官が来て手続きをして貰えますが前に手紙を出しておいた方がビザ無しでもスムーズに行きます。

出国：先に本船の入る埠頭にある税関に行き（バス＄20に乗って行かないと遠い）クリアランスを作って貰い、出入国事務所で出国手続きをします。他の島に行かない約束をします。

追記：燃料は1軒しかないストアの裏で売っていて、もし品切れの時は本船の埠頭の脇のBPに行き分けて貰う事になる。ゴムボートで行かないと運搬するトラックが無いので注意する事。

帰途は金曜日の夕方に着いたので月曜日の朝まで上陸する事が出来ませんでした。

この島には野菜が殆んど売って居ないので、時には馬鈴薯、玉ねぎ、米も無くなる時があります。

#### ■ウエスタン・サモア アピア港

入国：本船の着く埠頭に着けて、港事務所に行き、出入国事務所に連絡をして船で待っていると、検疫、出入国、税関官が来て手続きをして貰う。ただし出入国は忙しいのでなかなか来て貰えない。4時間待ちました。

出国：出入国事務所に行き許可書を貰い、税関に行きクリアランスを貰い、その後港事務所でサインを貰って完了となります。

#### ■アメリカン・サモア バゴバゴ港

入国：本船の入る埠頭でなく、ヨット専用の埠頭に着



②アメリカン・サモア バゴバゴ港のヨット入出国岸壁，出港前日。

けてから港事務所（本船用埠頭にあり）に届けて錨地の指定をして貰い、階下にある税関に届け出ると検疫、出入国、税関官が来て手続きをして貰える。

出国：港事務所で停泊料を払うと税関で書類を作成して、出港時間になると（申告した時間）出入国官が立ち会いに来て、クリヤランスを手渡して貰える。停泊料は船の大きさ、期間に依って異なる。〈MIRAGE〉は全部で\$ 20.5支払った。

#### ■クック ラロトンガ島

入国：本船の入る岸壁に着けて港事務所に届けると検疫、出入国、税関官が来て手続きをする。現在港の修理中でヨットの入港を許可されていません。何時修理完了か不明です。

出国：出入国管理事務所で1人F\$ 20を支払い、その証明を持って税関でクリヤランスを作って貰いますが、F\$ 100を支払いました。高いと言ったら、帰途には少くしてくれました。それに領収書もくれないので、どうなっているのか分かりません。

追記：上記のように帰途のクリヤランスは半額でした。また、日曜日でもクリヤランスを作って貰いました。そして他の島に寄らない約束をしました。

#### ■タチヒ パペーテ港

入国：港の右手に広がっているヨット・ハーバーにヨットを着けて、フェリーの発着場（左手）の裏にあるヨット専用の出入国事務所に行き、申告手続きをする。1ヵ月以上フレンチ・ポリネシア滞在の時はボンドを積まなくてはいけない。これは出国地の銀行で返してくれる。その後裏側にある税関で所持品の申告をして、その脇にある港事務所で何処に置いているか（水道と電気のある所と水道のみの所では料金が違うので、注意すること。）を申告して完了となり、検疫は関係なく、船にはチェックに来ない。まことにスマートで、さすがにヨットのメッカといえる所だ。

〈MIRAGE〉の行った時はお祭りでもあったので100隻以上が停泊していた。日本のヨットは残念乍ら居なかった。

出国：他の島を経由して出国する時でも、まず出入国



④フレンチ・ポリネシア、モーレア島のクック湾。



③バゴバゴ湾（アメリカン・サモア）での錨泊中の〈ミラージュ〉。

事務所に行き、その旨を申告し、書類を作って貰い、税関で所持品の申告後書類を貰って、港事務所で停泊料（入国税は大きさに依って異なるが33呎で1,700 PFで、水道、電気の供給のある所は1日200 PF）を支払って手続完了で、出国の際は船に来ない。

追記：燃料はフェリーの着く岸壁の脇に船専用のスタンドがあり、ゴムボートで買いに行くと良いでしょう。モーレアでの出国：タチヒでの書類が完了していれば、自由に出入港して良い事になっている。

ボラボラでの出入国：警察に行き、パペーテの書類



⑤ フレンチ・ポリネシア、モーレア島でのタヒチアン・ダンス。



⑥ モーレア島で海上自衛隊の練習艦隊〈かとり〉、〈まきぐも〉と会う。右のヨットが〈ミラージュ〉。クック湾での出来事。

を見せて、出国のスタンプを貰う。ボンドを積んでいる時は、この時に手続きをする。(銀行はすぐ脇の所にあります。)

#### ■トンガ ヌクアロファ島

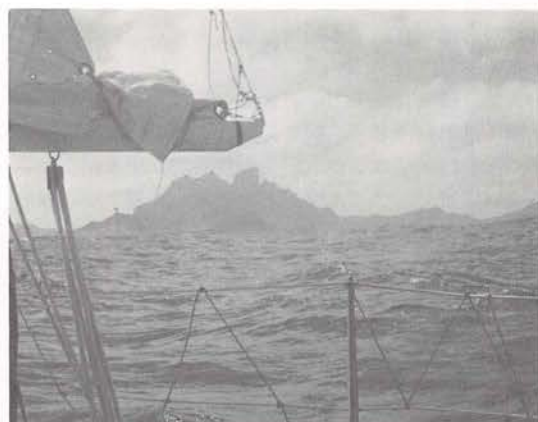
入国：船を錨泊または小型船の岸壁に着けて、本船の入る埠頭に行き、税関に届け出ると、出入国、検疫官が来て、手続きをして貰え、船に来ないで完了となる。  
 出国：入国の時に行った税関でクリヤランスを貰い、市内の警察の一角にある出入国事務所に行って出港の時間を告げると、その時間に出入国官が来て、出国のスタンプを押し、出国の立ち会いをする。停泊料は税関で支払う。〈MIRAGE〉は10.5トンガドルを支払った。

#### ■フィジー スバ港

入国：チャート上に図示してある検疫錨地でイエローフラッグを掲げて待つと、検疫官が来て検査をして、その後ロイヤルスバ・ヨット・クラブの錨地(検疫の所の陸地寄り)にアンカーリングをしてボートで上陸し、本船の着く埠頭に行き、税関に届けると、出入国官が来てその場で入国手続きが完了となる。



⑦ フレンチ・ポリネシア、ボラボラ島で錨泊中の〈ミラージュ〉。



⑧ ボラボラ島もうすぐだ。

〈MIRAGE〉は時間外だったので、15フィジードルを支払った。その時に色々な注意事項を書いた書類に、ヨットの代金を保証金としてサインしました。

出国：まず税関でクリヤランスを作って貰い、出入国事務所(行政府の海岸寄りにある)に行って手続きが完了となります。行く所がそれぞれ遠いのでタクシーが便利です。

追記：ロイヤル・ヨット・クラブは1週間1隻で20フィジードルで燃料も水もクラブで買えますし金曜日はパーティがあります。錨地はなるべく他の船の中に入れて置き、外出する時は何時も鍵を掛ける様にならないと、盗難が時どきあるので、注意しなければなりません。

#### ■ナウル

入国：ビザは必要で、無い時は直ぐ出国しろといわれます。港らしい所は無く、タグボートの出入りする港だけ。船は海岸近くにあるブイに着けて、港のすぐ脇の事務所に行って、出入国事務所に電話して貰い、待っていると来て、ビザがあるのを確認してから、空港の傍の事務所に連れて行かれ、警察長官の事務所で入国のスタンプを貰います。その後一度船に来て見て行くだけです。

出国：出入国事務所でクリヤランスを作って貰い、警察長官のサインを貰って完了となります。税関も出入国も一緒にやっていて検疫は無いようです。

追記：燃料は燐鉱石の会社 NPC ゼネラル・マネージャーの所に行き、ヨットで来て軽油が欲しいことを訳を話して分けて貰うことになり、街の中ではガソリンしか売っていません。

他にストアに行っても卵を売ってくれないので困りました。野菜は少しならばあります。酒とタバコは税金が無い国なので他の国から見て半分の値段で買えるので好きな人にとっては天国のようです。沢山買って出国すれば良いと思います。

#### ■グァム アブラ港

入国：本船の着く岸壁に着けて待ちますと、税関、出入国官が来て手続きをして貰えます。税関官が検疫を兼ねているらしく、ネズミの駆除の期限が切れているのを指摘されて、翌日係官のチェックを受けるようにいわれて、検査を受けて書類を作って貰いました。費用はヨットの場合は不要です。ここは出国の際のクリヤランスを翌日作ってやるとの事で、港事務所の内にある税関で作成して貰いました。\$34でした。

出国：クリヤランスは前に作って貰ってあるので、入国の際のチェックの半券にサインして港事務所の最上階にあるハーバースターの所に行き、チケットを渡しましたら、出国手続き完了となり、誰も立ち会いませんでした。

追記：アブラ・ヨットハーバーはホテル街よりかなり遠いのでレンタカーを借りておくか、タクシーで行くしかないのでは買物等も不便です。

終りに、他の国に行った時、私共は外国人ですので、その訪問した国の法律、風俗、習慣を尊重して行動すれば、楽しい滞在が出来ます。港で海を汚さない事、



⑨フィジー、スバ港のロイヤル・スバ・ヨット・クラブの前で錨泊中のヨット群と夕日。

上陸した街での言語行動に気を付けて（日本語が分る人が居ます。）特に政治的な事柄を避けて、エンジョイすれば楽しい毎日が送れます。

是非日本のヨットも、もっと多く色々な国に行き、見聞して頂き度いと思います。

ボン・ボヤージュ!! ボン・チャンス!!

## 「パンナム・クリッパー・カップからケンウッド・カップへ」

1978年の一回目のレース以来、ハワイのワイキキ・ヨット・クラブ主催の「クリッパー・カップ・シリーズ」は、われわれ日本のヨットマンにとって最も魅力ある、超一流の国際レースとして注目されてきた。日本からの参加艇も、こういった最高のレベルの国際ヨットレースとしては、量、質ともに高いレベルの実績を残してきた。1982年（第3回）の〈飛梅〉の総合優勝は特筆されるべき快挙であったし、〈雪柱〉、〈スーパー・ウィッチ〉、〈TOGO〉、〈ZERO〉等、日本の代表するIOR艇がこぞって参加してきた。

第一回から1984年の第四回まで冠スポンサーをしていたパンナムが、太平洋路線からの撤退に伴い、クリッパー・カップのスポンサーを降りることになり、どこ

の企業がその替りに名乗り出るか注目されていたが、本年に入って、日本のトリオ株式会社が、新にKENWOOD CUPを提供し、全面的に冠スポンサーとして、同レースをサポートして行くことが決まった。

シリーズの正式名称は「KENWOOD CUP, HAWAII INTERNATIONAL OCEAN RACING SERIES」となり、略称として「KENWOOD CUP・HAWAII IOR SERIES」と呼ばれることになった。

トリオは社名も、本年6月にはKENWOOD CORPORATIONと変更されることになっており、同社の本企画への意気込みも並々ならぬものが窺われる。

同社の石坂社長も、1月29日の記者発表の席で、「じっくり、腰をすえて、いき永くお手伝いしたい」

と、同社の40周年記念事業の一つとして取り組んで行く、その基本スタンスを明らかにした。

日本の企業がスポンサーとなったことは、大変喜ばしいことであり、今後日本からの参加の量・質の拡充にいつそうのほづみがつくものと思われる。

なお、今回の第5回目のレースの NOTICE によると、インターナショナル・チームに限って(クラブ・チームは対象外)、チーム・スポンサーの広告表示に

ついて特例が設けられ、レース中でなければ、チーム・スポンサー名もしくはロゴを表示した旗(120 cm×180 cm)を、当該チームの各艇が表示しても良いということになった。NORCとしては、インターナショナル・チームとして3チームまで指名できるわけだが、このチーム・スポンサー規定は、従来より積極的なチーム派遣支援活動が可能となったことを意味するわけで、今後の成果が期待される。

## 〈エリカ号だより〉

# 親子で世界一周〈エリカ〉号名古屋へ帰る!

アマチュアの名古屋人ヨットマンが家族と共にヨットで、世界一周の旅を続けました。長江裕明(37歳)、ジェニファー(英国人37歳)、絵梨佳(8歳)の三人家族。昭和56年7月13日、多くの人々に見送られ、伊勢湾を出航しました。4歳だった絵梨佳は、8歳の少女になり、再び日本にもどるのを夢見て、現在(1月末)パラオに滞在しています。そして、ようやく4年8ヵ月の航海を終えて3月中旬から下旬にかけて名古屋港にもどる予定です。天候等の事情から帰港日が決定できませんが、帰国パーティを〈エリカ〉号をバックにささやかに行ないたいと思います。どうぞご参加下さい!

さて、ここで〈エリカ〉号のPRを少しさせてい

たきます。

家族で世界一周を完遂するのは、日本広しといえど、エリカファミリーが初めて。けれども彼らは、世界一周の気負いなど無関係に、どんな人々、家族でも、地球を楽しく旅行できる——地球家族になれるということ、多くの人々に知ってほしいのです。帰国後も、講演会、展示などエリカ号の活動を通して、第二第三の地球家族が生まれたらすばらしいことですね。〈エリカ〉号は、朝日新聞、アサヒグラフ、朝日TV系「ニュースステーション」にて随時報道されています。ご質問などございましたら、こちらへご連絡下さい。

〒460 名古屋市中区栄4-16-23

オフィス栄 603号

「地球少女 エリカの会」矢木宛

☎(052) 263-4136



写真提供：アサヒグラフ

## ★航行ルート

常滑港(1981. 7. 13)→太平洋横断(絵梨佳は4歳、「ヨットによるわが国の太平洋横断最年少」)→アメリカ(81. 9)→メキシコ(82. 4)→大西洋横断→イギリス(83. 7)→ベルギー→オランダ(83. 10)→スペイン(84. 6)→ポルトガル→〈地中海〉→ギリシア→〈スエズ運河〉〈紅海〉→イエメン(85. 6)→〈アラビア海〉〈インド洋〉→スリランカ→マレーシア(85. 10~11)→インドネシア(85. 11~12)→パラオ(86. 1~2月初め)→日本(86. 3月初旬予定)



# 特報！ 電話級無線通信士 臨時国家試験のお知らせ 第1報

実施日時 未定（8月～9月頃）  
 実施方法 講習会（有料）プラス試験  
 実施場所 東京地区および関西地区（場所未定）

短波帯の無線機を設置したいが無線従事者がいない、試験を受けたいが難しい、といった問題に対処するため、通信委員会では郵政省当局と「無線従事者資格の緩和」「ヨットに限定した免許の新設」について交渉を重ねてきました。この問題にはNORC会員の総意として石原会長にもご尽力いただき、法律の改正をも含めて郵政当局に要望してきましたが、解決しなければならない問題は数多くあるものの、とりあえず「NORCの会員を対象に臨時試験」を実施してもよいとの答が返ってきました。

細目は今後の折衝によりますが、予定としては試験は数日の講習（有料）を行い、最後に試験を実施するといった、いわゆる養成コースに近いものになる見込みです。したがって合格率はかなり高いものになるでしょう。

実施場所としては東京地区と関西地区（場所未定）の2か所が予定されています。その他の地区については受験者の数によっては申し入れてみることもできる

とおもいます。

実施時期としては、メルボルン—大阪・ダブルハンドレース参加者に間に合わせるとなると8月、遅くとも9月には実施しないと間に合わないこととなります。したがって時期的には早くなることもありますが、おそくなることはありません。

詳細については次号のオフショアにて発表いたします。

## お願い

この臨時国家試験の予定人員を見積もる関係上、受験希望者は葉書に受験希望と書いて至急NORC事務局あてお送りください。とくに関西地区の会場を決める際には重要な資料となるでしょう。但しこの葉書はアンケートだけです。受験申込みではありません。ご注意ください。

またこの臨時試験についてのご意見、ご希望も併せてお書きいただければ、折衝するさいの参考にさせていただきます。

## はじめまして…

### NORCの新職員紹介

庶務担当の金子氏、経理担当の津田氏の退職により、後任として、河野聡子（19歳、本籍大分県）、石黒公代（？4歳、本籍東京都）の両氏が就任しました。

### 河野聡子

初めて社会人になりました2ヵ月になります。よろしくお願ひ致します。人生経験不足でまだ右も左も分からない私ですが、NORC職員をはじめ、会員の皆様の温かいご指導のもとで頑張っています。ヨットには一度も乗ったことが有りませんので機会があれば乗ってみたいです。

仕事は会員関係を主として庶務ですが、「正確に、明るく」をモットーにがんばります。

### 石黒公代

協会に入ってからすぐ、グァムレースで、日本最大のヨット、〈シナラ〉に乗せて頂き、レースを見学いたしました。

競技というには、余りにもお天気が良すぎて、風がなく、走るのが大変なようでしたが、私の方はヨットレースの雰囲気を楽しんで、とてもよかったと思います。

仕事の方は経理です。今、引継中で慣れたとまでいきませんが、少しでも早くお役に立てるよう頑張っております。





# 厳原

## 玄海支部広報 片倉静江

国境の島ともいわれ、韓国とは一衣帯水の位置にある対馬の厳原港(34°11'N, 129°17'E)が1985年第7回アリランレース中、第1レースのフィニッシュポイントとして初登場した。博多から厳原迄約60マイルレース。対馬セーリングクラブの代表艇でアリランレース初出場の〈きたたき〉(YA 26)は、本部船をつとめる為第1レースは参加しなかった。

暗やみの中でのコミッティは全く御苦労様で、セーリングクラブのメンバー全員が、ライトを照らしながら、泊地久田浦への誘導、接岸のお手伝い等、大変御世話になった。その〈きたたき〉の田中節孝氏と稲垣和典氏が、去年の9月福岡で開かれた「釜山観光展」関係で来福され、今年の4月のゴールデンウィークに豪華客船〈サンシェイフ〉を仕立てて、博多—厳原—釜山へ渡る、楽しい船旅の企画書を見せて下さった。来年の第8回アリランレース前に釜山のオリンピックヨットハーバーを一寸のぞいてみたい。

さて、去年40艇近くのヨットの食糧、燃料、又、出国手続きのお手伝いをした対馬セーリングクラブ、厳原

町役場産業振興課の皆さんは、その経験を生かし、今後釜山へ渡るヨットは是非厳原から!…とヨットマン達の来島を心待ちに待っている。そしてその裏付けの為、田中・稲垣両氏は11月中旬釜山市を訪れ、現地の観光協会及び、代理店と受け入れ態勢について話をつめ「入港手続き、パス、その他について出来るだけ御期待にそいます」との約束をいただいて帰国された。

一年前、朝日新聞に「国境の島」という標題で、対馬の漁師と韓国の漁師の事が書いてあった。最近では薄れてきたかもしれないが、韓国の漁師は、対馬と日本をわけて考える程、対馬に対して親密感を持っているとあった。(出入国の手続きが出来るオープンハーバーは、対馬では厳原港だけ。念の為)

対馬は地図でも一目瞭然、島の北端から韓国迄距離にして約53キロの近さで、秋又は冬の晴れた日には北部の千俵 蔭山(177m)や、韓国展望台から釜山市の建物が見えるそうだ。日本海側の県は別にして、南九州、四国本州方面から、いっきに韓国へ向うのは、レースでないかぎり、一寸退屈する。第7回以前のアリランレースの場合、韓国側の受け入れ準備の問題もあり、往路復路の水、食糧、燃料やらで小型艇等、足の踏み場もない位キャビン内はポリタンや荷物の山だった。それが去年の第7回より厳原出国と決まり、気も心も船も軽やかに第1レースに参加した。2日後、必需品の他に魚貝類、絶対必要な水そして、命の次に大切なアルコール類等をセーリングクラブや、厳原町の事前の手配通りスムーズに受け取って釜山へ出港した。時間が許せば、厳原町、その近辺、又島廻りや魚釣り等も楽しいと思う。

厳原町は、中世以降700年間にわたって、対馬を統治してきた宗(そう)家の城下町として栄え、町はずれにある宗家10万石の菩提寺(万松院)は、金沢の前田家、萩の毛利家と並んで、日本三大名墓所のひとつになっている。

うっ蒼と繁った大木の間、百雁木とよばれる石段を登りつめると、歴代藩主の墓石が立ち並び、遠く東





後方宇都須利崎、右方は久田浦

の国から興入れされた御台所達の名前を順々にたどっていく中に、タイムカプセルに入った様な静けさに浸ったのをおぼえている。又、同行の友人とかわすれ話も思わず声をひそめる程荘厳そのものだった。

町中には、「町並保存会」という会がある位、今でも武家屋敷跡の塀があちらこちらに立ち並び、武士や矢絰の着物に黒縄子帯をしめた、お女中達が出てきてもおかしくない位武家風の町並みがまだ残っている。

宿泊施設は民宿を合せて40数戸あり、万松院近くにある西山寺もユースホステルになっている。(きたたき)の田中氏は、このお寺の御住職で、西山寺は対馬セーリングクラブの事務局にもなっている。

泊地については、厳原港へ入るのもよいが、多くの漁船でごった返している時もあり、西側の入江久田浦も泊めやすいと思う。久田から厳原町迄約20分、坐りつづける帆走の後には丁度良い運動になる。久田にはスーパーマーケットもあり、「民宿」の札をかけた家が二軒あった。久田浦にそそぐ久田川の川口に、昔の対馬藩の船着場五基が、当時の原型を残している…と、後で読んだパンフレットで知った。滞在中、何かしら気ぜわしく、目と鼻の先にあった由緒ある「お船江」跡をみすごしてしまっただけ残念至極。

動物植物にも珍らしいものが多い。御存じツシマヤマネコの生息地で、かつて対馬がアジア大陸とつながっていた頃、この野生猫が入りこんできたと考えられている。もう絶滅したのでは？と思われていたが、去年の秋頃、新聞TV等で報道された様に、親子らしい二匹の猫がカメラに収められ、そのうちの雄の子猫が捕えられ公表された。その同じTVの番組にツシマテンも登場していた。ツシマジカも対馬特産である。

ヨット〈きたたき〉の名前の由来は、幻の鳥となった全長45cm(!)といわれる日本最大のキツツキからで、木をつつく音がたたく様に聞こえたのでキタタキの名がついたそう。昭和に入って確認されていないが、ツシマヤマネコの様に、或日突然、庭先の木をカタカタカタノとたたいて驚かすかもしれない。

草花も、動物に負けず劣らず対馬独特のものがある。対馬海流の影響で、温暖な気候に恵まれ自生のツバキ

が多く、なかでも神秘的なのがシロツバキで、お目にかかるチャンスを逸したが、赤い椿を見なれている我々にはさぞや清楚にうつるだろう。その他に、ダンギク(クマツヅラ科)、ゲンカイツツジ、ヒトツバタゴ(モクセイ科)がある。ヒトツバタゴは別名ナンジャモンジャとか。初夏に咲くオレンジがかった黄色い百合の様なハクウンキスゲも対馬だけの花だそうで、有名なニッコウキスゲと同じ、ワスレナグサ科に属する。(参考資料：厳原町町並シンポジウム委員会)

魚貝類が新鮮でおいしいのは勿論の事！天下の対馬海流が育てた海の幸は、厳原町主催のパーティでどっさり頂いた。特にウニは美味しかった。海の幸に比較的恵まれている博多でも無理だろう。釜山回航前日、時間調整の為、西側の浅茅湾で全艇アンカーをとったが、厳原で仕入れたサザエや魚等をおつまみにイッパイ。第1レースが終った後でもあり、いよいよ釜山へむかう前夜というお祝もかね、よく食べてよく飲んだだけ。

さて、厳原から韓国へ渡るとすれば、目的地によっては、東をまわるか一旦南下して西を通る事になる。上対馬と下対馬をわける海峡、万関の瀬戸は、昔地つづきであったが、明治33年日本海軍が堀削した人工の瀬戸で、干潮時の潮流が画く美しい渦模様は、万関大橋から眺められる。去年は、〈きたたき〉の先導でこの瀬戸を通りぬけたが、狭い瀬戸を往来する潮流がはげしく、水深約4m、藻等ゆらゆらと海面近く迄背のびしているところもあり、満潮時を除き、水先案内人なしでの航行には細心の注意を要する。

去年の3月だった。身内の病人の事でくさくさしていた時、急に旅に出たくなり厳原行のフェリーに乗り込んだ。アリランレースを1ヵ月後にひかえ、久田浦及び厳原港の下調べもあったが、船旅ならどこでもよかった。宿屋の縁側から港口が見える。薄暮の中、白い航跡を残して次から次へと出港していく漁船の黒いシルエットを眺めながら夕食をとった。部屋のすぐ下が波打ち際なのか、規則正しく打ち寄せる波の音、小高い丘を吹きぬける玄界灘特有の強い風、正に自然が奏でる交響楽に耳を傾けた。海では、波と風の音さえあれば娑婆の音楽は何もいらぬ。ベートーベンもチャイコフスキーも大自然の前ではかすんでしまう。往路、春何番で一寸荒れた故だろうか、それとも自然の音楽と海の幸をおつまみに飲んだからだろうか、久しぶりに早々と床についた。

対馬セーリングクラブ：

長崎県下県郡大字国分1453西山寺内

☎09205-2-0444 〒817

厳原町の観光等の案内問合せ先：

長崎県下県郡大字国分1441 〒817

厳原町役場産業振興課商工観光係

☎09205-2-1211 (内線320)

## 日本船舶振興会補助事業

## '85年東海フェスティバル報告

(社)日本外洋帆走協会東海支部支部長 小林 義彦

## '85年東海フェス ティバルを終えて

総括委員長 鈴木幹夫

第16回の東海フェスティバルが、無事盛大に終了できましたことを心から関係各位の方々に感謝申し上げます。過去3回共雨にたたられた為、半田港運ビル3階ホールを利用させていただき前夜祭をやってまいりました。

今回は例年の9月実施が南勢町記念レースと重なった関係で11月の催しとなり、雨にもみまわれなかった為、屋外での前夜祭ができました。

今回も前々から充分な準備をしておりましたが、実際に初めての屋外会場の為、会場設営に当たり電気の容量のことを考えず配線をした為に照明、その他が完全にストップしてしまいましたことを出席者の方々に深くおわび致します。尚、安全訓練におきましては、衣浦海上保安署の御努力で救難ヘリコプターを動員していただき、例年の係留場所での訓練を少し外に出して全艇が機走にて参加をし、盛り上がりを見せていただきました。又、合同レースにおきましても絶好のヨット日和に恵まれ、報道艇も半田港運の好意でお貸いただきテレビニュースにスタート風景が放映されることができました。

このように、年々回を重ねるにつれ、内容も充実し実のあるフェスティバルに育って来ております。これもひとえに関係各位、役員一同、又マスコミの皆様の御協力によるものと思います。どうか来年のフェスティバルが、又一段と盛大にとり行われることをお祈りします。

最後に来年も各フリートから、海を愛する方々の多数の参加をお待ち致しております。

## 安全訓練報告

安全委員長 沓名洋一

11月3日(日)、4日(月)の2日間、衣浦港で開催し始めて、4年目にし初めて好天に恵まれて行うことができました。今回は南勢町30周年記念レースがあった

為、予定されていた9月から変更されてこの時期になったものです。

### ★セーフティナビゲーターコンテスト★

11月3日、艇長会議終了後の16時から17時まで、半田港運ビル2階で20名の方の参加がありました。このコンテストは一昨年から始めましたが、今回は新たにレースルール、セーリングテクニックについての出題も加えた幅広い分野（他に航法、海事法令、気象、救急、ロープワークなど）にわたって頭をひねってもらいました。出題はペーパーテストで、100点満点で平均63点、最高89点でした。

'85 Best Navigator 賞は〈エビキュリアン〉の山口俊三氏が獲得されました。又、'85 Good Navigator 賞には〈エビキュリアン〉竹内芳樹氏、〈白雲〉萬田憲一氏、〈朝鳥〉加藤好憲氏、〈1/4〉石田忠彦氏が選ばれました。

以上5名の方には、その優秀な中身に似合う特製の帽子が贈られました。海やハーバーでその姿を見かけられたら榮譽を称えてあげてください。

### ★映画による安全意識の学習★

11月3日19時から20時まで、四管本部から借りた海難防止PR映画を前夜祭パーティ会場の一角で上映しました。映写機の不調で音声が出なくなり申し訳ありませんでしたが、迫力ある救難シーンに見入っていただけました。

### ★海上保安庁、外洋ヨット合同練習★

翌11月4日、9時30分から10時30分まで、衣浦海上保安署「きぬかぜ」、伊勢航空基地の救難ヘリコプターと代表艇2艇〈ビブロス〉、〈エスカルゴ〉による合同練習を中央埠頭南海面で行いました。他の参加艇は地元子供達に体験乗艇をさせながら見学しました。

〈ビブロス〉のラダーが破損した為応急舵を取り付け、それを〈エスカルゴ〉が曳航する訓練から始まり、次には2役目の〈エスカルゴ〉でLPGが漏れ爆発、火災が発生し「きぬかぜ」が放水する訓練に続き、2役目の〈ビブロス〉から1名が落水し行方不明となり、救難ヘリコプターが捜索、発見し機上にロープで吊り上げる訓練で盛大に幕を閉じました。

特に今年は救難ヘリコプターに来てもらえ、その迫力ある頼もしい活動ぶりを多くの方々に目の当たりに見ていただけ、大変嬉しく思っております。

そのあと衣浦海上保安署の大川次長から訓話を受け、パラシュートフlea等の打ち上げ訓練を行い、『安全なヨットライフ』を参加者全員の胸に刻み訓練を終りました。

この訓練の為に、1艇2役ずつの訓練をこなして頂いた〈ビブロス〉、〈エスカルゴ〉の方々、休日にもかかわらず訓練に参加指導して頂いた海上保安庁の皆様、ヘリコプターの派遣に奔走頂いた小林支部長、鈴木総括委員長、ナビゲーターコンテストの出題を頂いた都築理事、訓練の裏方で頑張ってもらった安全委員の方々、本当に多勢の方々の協力によって安全訓練を成功させることができました。誌上を借りてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

## 前夜祭報告

### 海事普及委員長 森 章

例年とは異なり、今回は五ヶ所湾のある南勢町で30周年記念レースが行われ、前夜祭は11月3日の肌寒い季節に野外で行うことになりました。

台風シーズンを避けましたので好天に恵まれました。しかし、手慣れたスタッフが五ヶ所湾でのパーティ疲れと、J24 ワールドの準備の応援で参加できないことと、事務局の谷口さんが辞められたこともあり心配でした。が、当日は鈴木幹夫総括委員長の指揮のもとHYC、KSC、KYC、青山、山下、ビンドクルーの皆様のお援助を得て、会場設営、料理、安全訓練、体験乗船、合同レースが進められました。

晩秋の夕日は早く落ち、照明を増強すると容量オーバーで停電となり、不慣れな所へ思わぬハプニングが起こり、心はパニック！ 栓抜き、乾杯の紙コップも用意できず皆様に大変ご迷惑をかけました。パーティ中、点灯できず、半田港運のご好意の発電機と自動車のヘッドライトのもと山寺アナウンサーの司会で進行了しました。事務局の山田さんが準備したゲームが出来なくて残念でした。いろいろありましたが、お陰様で今回も無事に前夜祭を終了できました。御協力を頂きましたトヨタ自動車(株)、地元半田市民の皆さん、陰でパーティを支えて下さったスタッフの皆さんには、誌面をお借りして心から御礼申し上げます。

## サムタイムカップ湘南ヨット フェスティバル開催のお知らせ

1. 主 催 湘南ヨットフェスティバル実行委員会
2. 後 援 日本たばこ産業株式会社
3. 協 賛 日本航空株式会社／大和証券株式会社

社／ヤマハ発動機株式会社／ヤマハ東京株式会社／株式会社葉山マリーナー／巴工業株式会社／葉山町観光協会（交渉中）／(株)日本外洋帆走協会関東支部／(財)日本ヨット協会（交渉中）／神奈川県ヨット連盟（交渉中）／日本シーホース協会／葉山ボートサービス／その他今後追加予定

4. 期 日 昭和61年 5月 5日(月)子供の日
5. 会 場 葉山マリーナ（パーティー、表彰式）  
相模湾、湘南海域（レース海面）

6. レース種目 (1)クルーザー（案）  
逗子湾スタート～鎌倉沖ブイ回航  
～江の島ブイ回航七里ヶ浜湾ブイ回航～鎌倉湾内ブイ回航～逗子湾フィニッシュ

#### (2)ディンギー

葉山沖 オリンピックコース

7. スケジュール 5月 5日  
クルーザー

逗子湾口→予 告 信 号 9:45  
スタート信号 10:00

#### ディンギー 第1レース

葉山湾沖→予 告 信 号 9:45  
スタート 10:00

#### 第2レース

葉山湾沖→予 告 信 号 12:50  
スタート信号 13:00

#### パーティ・表彰式

葉山マリーナ 16:00

8. 適用競技規則 国際ヨット競技規則、当核クラス規則、湘南ヨットフェスティバル実施要項及び帆走指示書による。

9. 参加資格 クルーザー、ディンギーの愛好者なら艇種、年齢を問わず、だれでも参加することができます。ただし18歳未満の方は保護者の同乗もしくは承認が必要です。

10. 賞

#### ☆クルーザー

1位～3位及びファーストホーム賞にカップと副賞及び楽しい賞を盛り沢山用意尚、順位は葉山簡易レーティングを使用。

#### ☆ディンギー

2レース総合で10隻以上した艇種は1位～3位にカップと副賞を授与。

又9隻以下の艇種は3クラスに別けて2マンスピンネーカー艇、2マン艇、シングル艇クラスとし、それぞれ1位～3位にカップとヨット協会

指定ボートマスナンバーを使用。

◎尚、パーティにおいて全参加者を対象に豪華賞品の当たる抽選会(目玉賞品としてハワイ招待旅行をペア)を行います。

11. 参加料 クルザー 1艇4人まで2,000円(Tシャツ4枚配布)  
ディンギー 1艇2人まで1,000円(Tシャツ2枚配布)

上記人数を越える場合には1人につき500円(Tシャツ1枚配布)

12. パーティ サムタイムTシャツ着用者は無料, その他は500円(レース関係者に限る)

13. 参加申込 参加受付は、実行委員会所定の参加申し込み書に必要事項を記入し参加料を添えて最寄りの窓口へ申し込み下さい。

尚、引き換えに帆走指示書、レース旗(鯉のぼり)、参加賞を受け取り下さい。

1. 日本外洋帆走協会(N. O. R. C)事務局

東京都港区虎ノ門1-15-16船舶振興ビル

☎03-504-1911

2. 葉山マリーナハーバー事務所  
神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2

☎0468-75-7485

3. ヤマハボート新橋店

東京都港区東新橋1-1-21今朝ビル

☎03-572-2020

4. ヤマハボート新宿店

東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエイビル

☎03-342-8551

5. ヤマハボート横浜店

横浜市中区下町1番地シルクセンター

☎045-681-4127

14. 申込期限 昭和61年4月1日(火)より4月20日(日)までに直接申し込み下さい。

15. その他 大会についての連絡、問い合わせ先  
神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2

葉山マリーナハーバー事務所内

湘南ヨットフェスティバル

実行委員会事務局

☎0468-75-7485

実行委員(24名) 61.2.12.現在

松本富士也/吉田正雄/長束盛隆/清田博/片山恭

子/小野沢秀典/元憲幸/鳥本洋一/名取正精/井上一典/田中一美/松井豊/斎藤修/広瀬保之/鎌田健/山田凱通/朝倉宏/高橋信雄/田中博/今井英雄/小田原時宣/松田健次郎/桑原祥二/藤沢武司

☆大会本部 東京都港区赤坂1-1-18 赤坂大成ビル

(財)日本法制学会内

湘南ヨットフェスティバル実行委員会

☎03-589-4561

☆事務局 神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2

葉山マリーナハーバー事務所内

湘南ヨットフェスティバル実行委員会事務局

☎0468-75-7485

## 横浜フリートだより

フリートキャプテン 安岡信一

去る、12月1日東京湾に於いて、60年最後のレースをおこないました。コースは磯子沖スタート、フィニッシュ、あしか島反時計廻りでした。スタート時は微風でノーレースを心配しましたが午後より強風となり無事終了致しました。

成績は

[クラスⅠ]

[クラスⅡ]

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. 〈ビック・ショット〉  | 1. 〈そよ風〉   |
| 2. 〈ダンスオブマジック〉 | 2. 〈マナ・ユカ〉 |
| 3. 〈ナナ〉        | 3. 〈アンギラ〉  |

でした。

表彰式とパーティは、横浜市民ハーバーで納会をかねておこないました。横浜みなと秋まつりより大量の賞品を提供され、パーティでは豚の丸焼、マグロの姿造りで楽しいひと時を過ごしました。

## 東京湾ミーテング のお知らせ

関東支部副支部長  
横浜フリートキャプテン

安岡信一

来る、3月1日横浜フリートで開催致しますパーティに東京湾に居られる会員の皆さま、ぜひ御参加下さい。今まで、東京湾の中の会員が一堂に会した事がなかったので、この機会に集まって頂き、親睦を主たる目的としながら、名簿の整頓、レース及び催物の連



絡調整等おこないたいと思っていますので、ぜひ御参加下さい。

日時 昭和61年3月1日(土) 午後6時半より

場所 横浜クルージングクラブ(岡本造船)

連絡先 岡本造船 ☎045-622-0214

クラブ ☎045-623-9620

申し込み先 横浜フリートキャプテン 安岡信一

☎044-544-7885

又は NORC 事務局迄

※切 昭和61年2月22日迄

会費 5,000円

尚、船でパーティに来られる方は係船の関係上安岡迄御連絡下さい。

## 61年度スモールボート ミーティングのお知らせ

去る1月19日、葉山マリーナにて開催されたスモールボートの新年会は、36名の参加者があり、盛況のうちに終了したことをご報告いたします。

会の席上、各オーナーより、スモールボートの集い(以下SSBM)の運営方法等、活発なご意見をいただき、61年度活動予定を決定いたしました。

つきましては、各フリートにて楽しいレースを企画され、スモールボートの仲間が、数多く参加されることを祈念いたします。

尚、フリート別名簿を作成いたしますので、各フリートキャプテンに、SSBMの未登録艇をご紹介願います。

ご多忙の時節とは存じますが、よろしくお願い申し上げます。

### 1. フリート

1) 葉山フリート キャプテン

木村 太郎(まれし 熊沢21)

2) 江の島フリート キャプテン

松崎 孝男(SUL-SUI 林19)

3) 金沢八景フリート キャプテン  
青柳慎一郎(MISTY レプトン)

4) 横浜フリート キャプテン  
中村 知行(朝涼Ⅲ Y-21 S)

### 2. 61年度行事予定

1) 第1回SSBM

4月20日(日)

担当 葉山フリート

2) 第2回SSBM

6月8日(日)

担当 江の島フリート

内容 江の島沖オリンピックコース

3) 第3回SSBM

8月2日(土)～8月3日(日)

担当 葉山フリート

内容 2日(土) バーベキューパーティー

3日(日) ロングコース

4) 第4回SSBM

10月26日(月)

担当 金沢八景フリート、横浜フリート

内容 ロングコース

\*各レースの詳細は別途ご連絡いたします。

\*SSBMでは、レースの順位は付けず着順のみを発表します。

\*クルージング派の方も引き釣をしながら、レースに参加してください。

以上

### ■連絡先

〒237 横須賀市田浦港町

関東自動車工業(株)特殊製品部

SSB事務局 小川直之 ☎0468-61-5111

## 沖縄レースに参加

### 予定の皆さまへ

昭和61年2月10日

通信委員会 帆走委員会 安全委員会

かねてよりオフショア誌上でお知らせしてきたように、昭和61年度の第8回沖縄レースの無線通信は短波帯(4メガ～16メガ)を使用して行います。

未だ短波帯(4メガ～16メガ)の準備が整っていない艇は至急ご用意ください。

短波帯への変更・増設にかなする、ご質問・お問い合わせはNORC通信委員会にご連絡ください。

# 1986年度 本部・関東支部レース・スケジュール

| レース名                | 初島印月レース                                | 第8回<br>沖縄・東京レース                                             | 第9回<br>関東支部<br>フリート対抗レース                                                                                                       | 初島レース                                          |
|---------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 主催                  | 支部                                     | 本部本部                                                        | 支部支部                                                                                                                           | 支部                                             |
| コース                 | 小網代<br>↓<br>初島(反)<br>↓<br>小網代<br>(48哩) | 沖 縄<br>↓<br>小網代<br>(830哩)                                   | 第1レース<br>三角(20哩)<br>第2レース<br>S. オフショア(48哩)<br>第3レース<br>三角(20哩)<br>第4レース<br>三角(20哩)<br>第5レース<br>L. オフショア(85哩)                   | 小網代<br>↓<br>初島(反)<br>↓<br>小網代<br>(48哩)         |
| スタート                | 4/5(土)<br><br>11:00                    | 4/29(火)<br><br>12:00                                        | 第1レース<br>5/17(土) 10:00<br>第2レース<br>5/17(土) 17:00<br>第3レース<br>5/24(土) 10:00<br>第4レース<br>5/25(日) 10:00<br>第5レース<br>5/31(土) 11:00 | 5/17(土)<br><br>17:00                           |
| 申込締切                | 3/20(金)                                | 4/8(火)                                                      | 5/2(金)                                                                                                                         | 5/2(金)                                         |
| 出艇申告<br>および<br>艇長会議 | 4/5(土)<br>07:30～<br>シーボニア              | 4/28(月)<br>沖 縄                                              | ナ シ                                                                                                                            | 5/17(土)<br>07:30～<br>シーボニア                     |
| 参加資格                | JORI～VII<br>ORC-4<br>NORC-C            | IOR I～V<br>ORC-1<br>NORC-A<br>沖縄～東京レース特別規定<br>船舶用短波無線(必要備品) | JORI～IV<br>ORC-3<br>NORC-B                                                                                                     | JORI～VII<br>ORC-4<br>NORC-C                    |
| その他の<br>事項          | ●クラスVIIに限り乗員3<br>名可                    | ●連絡会議<br>●座間味レース 4/27(日)<br>●前夜祭 4/28(月)                    | ナシ                                                                                                                             | ●フリート対抗S. オフシ<br>ョアをかねる<br>●クラスVIIに限り乗員3<br>名可 |
| 担 当                 | 計 磯                                    | 関東支部                                                        | 関東支部                                                                                                                           | シーボニア                                          |

| レース名                | 第36回<br>大島レース                                        | 第13回<br>江ノ島～清水レース        | 第27回<br>鳥羽パールレース            | 第4回<br>ジャパン・カップ<br>オフショア・シリーズ1986                                                                                       |
|---------------------|------------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主催                  | 支 部                                                  | 本 部                      | 本 部                         | 本 部                                                                                                                     |
| コース                 | 葉 山<br>↓<br>初島(反)<br>↓<br>大島(反)<br>↓<br>葉 山<br>(85哩) | 江ノ島<br>↓<br>清 水<br>(95哩) | 鳥 羽<br>↓<br>小 網 代<br>(150哩) | 第1レース<br>三角(27哩)<br>第2レース<br>三角(27哩)<br>第3レース<br>S. オフショア(150哩)<br>第4レース<br>三角(27哩)<br>第5レース<br>L. オフショア(300哩)          |
| スタート                | 5/31(土)<br><br>11:00                                 | 7/12(土)<br><br>12:00     | 7/25(金)<br><br>10:00        | インスペクション<br>10/2(木)<br>第1レース<br>10/3(金)<br>第2レース<br>10/4(土)<br>第3レース<br>10/5(日)<br>第4レース<br>10/8(水)<br>第5レース<br>10/9(木) |
| 申込締切                | 5/16(金)                                              | 6/27(金)                  | 6/27(金)                     | 9/5(金)                                                                                                                  |
| 出艇申告<br>および<br>艇長会議 | 5/30(金) 18:30～<br>NORC本部                             | 7/11(金) 18:30～<br>NORC本部 | 7/24(木)                     | 実施要項にて指示                                                                                                                |
| その他の<br>事項          | ●フリート対抗L. オフシ<br>ョアをかねる                              | ナシ                       | 7/27(日)<br>ウエルカム・パーティー      | ●表彰式 10/12(日)                                                                                                           |
| 担 当                 | 葉 山                                                  | 江ノ島・清水                   | 東海・関東支部                     | 本 部                                                                                                                     |

| レース名                | 第8回<br>ミニトン全日本選手権 | 第1回<br>海の日協賛ヨットレース | 第31回<br>神子元島レース                          | 第24回<br>小網代カップレース                 |
|---------------------|-------------------|--------------------|------------------------------------------|-----------------------------------|
| 主 催                 | 支 部               | 未 定                | 支 部                                      | 支 部                               |
| コ ー ス               |                   | 未 定                | 江ノ島<br>↓<br>神子元島(反)<br>↓<br>江ノ島<br>(99哩) | 小 網 代<br>↓<br>大島(時)<br>↓<br>小 網 代 |
| ス タ ー ト             | 10/10～10/13       | 未 定                | 11/2(日)<br>11:00                         | 11/23(日)<br>11:00                 |
| 申込締 切               |                   |                    | 10/17(金)                                 | 11/7(金)                           |
| 出艇申告<br>および<br>艇長会議 |                   |                    | 10/31(金) 18:30～<br>NORC本部                | 11/23(日) 07:30～<br>シーボニア          |
| 参加資格                |                   |                    | JORI～VI<br>ORC-3<br>NORC-B               | JORI～IV<br>ORC-3<br>NORC-B        |
| その他の<br>事項          |                   |                    |                                          |                                   |
| 担 当                 | ミニトン協会            |                    | 江ノ島                                      | 小 網 代                             |

## 1986年度 NORC内海支部年間行事予表

| レース名    | 総会・表彰式               | 関西ビッグボート<br>選手権レース                                                                               | 第11回<br>舵杯レース        | 第12回<br>オレンジカップ<br>レース                                                                           | ランデブー               | 大阪湾<br>ダブルハンド<br>レース | 大阪湾<br>横断レース                | 21世紀カップ<br>淡輪レース                                                |
|---------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 主 催     | 支部                   | 支部                                                                                               | 支 部<br>舵 社           | サントピアYC                                                                                          | 支部                  | 大阪市<br>支 部           | 須磨フリート                      | 支 部<br>関西ヨット協会<br>大阪府マリーナ協会                                     |
| 後 援     |                      | 関西YC                                                                                             | サントピアYC              | 支部                                                                                               |                     |                      | 泉南フリート                      | 大阪21世紀協会<br>淡輪YC                                                |
| コ ー ス   | 神戸スカイ<br>サントリービル     | 第1レース<br>三角(15哩)<br>第2レース<br>三角(12哩)<br>第3レース<br>三角(12哩)<br>第4レース<br>Lインショア<br>(60哩)             | 淡路島洲本沖<br>三角(15哩)    | 第1レース<br>三角(12哩)<br>第2レース<br>三角(12哩)<br>第3レース<br>Sイシショア<br>(15哩)<br>第4レース<br>Sインショア<br>(15哩)     | 和歌山県下津港<br>(双葉荘)    | 大阪湾                  | 淡路島浦港外<br>↓<br>淡輪沖<br>(15哩) | 淡輪沖<br>グルーザーレース<br>三角(15哩)<br>ディンギレース<br>オリンピックコース<br>(1レク1.1哩) |
| ス タ ー ト | 3/8(土)<br><br>18:00～ | 第1レース<br>3/20(木)12:00<br>第2レース<br>3/22(土)09:00<br>第3レース<br>3/22(土)13:10<br>第4レース<br>3/23(日)00:00 | 4/20(日)<br><br>10:00 | 第1レース<br>4/26(土)09:00<br>第2レース<br>4/26(土)14:00<br>第3レース<br>4/27(日)10:00<br>第4レース<br>4/28(月)08:00 | 5/4(日)<br><br>12:00 | 6/1(日)               | 6/1(日)<br><br>09:00         | 7/20(日)<br><br>10:00                                            |
| 備 考     |                      |                                                                                                  |                      |                                                                                                  |                     |                      |                             |                                                                 |

| レース名  | 家島群島一周<br>レース                            | オリーブライン<br>レース               | 徳島フリート<br>レース        | 阿波踊りレース                                  | マスカットレース                                   | フリート対抗<br>レース                                                                                        |
|-------|------------------------------------------|------------------------------|----------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 催   | 姫路ヨット協会                                  | クルージング<br>クラブ琴塚              | 徳島フリート               | 徳島外洋帆走<br>協会                             | 岡山フリート                                     | 支 部                                                                                                  |
| 後 援   | 支 部                                      | 支 部                          | 徳島外洋帆走<br>協会         | 支 部                                      | 玉 島 Y C                                    | 関 西 Y C                                                                                              |
| コ ー ス | 姫路市木場沖<br>} 家 島 群 島<br>} 姫路市木場沖<br>(40哩) | 岡山県牛窓港外<br>} 小豆島琴塚沖<br>(15哩) | 徳島沖<br>} 三角(15哩)     | 徳 島 港 沖<br>} 小松島港沖<br>} 徳 島 港 沖<br>(20哩) | 岡山県玉島港沖<br>} 塩 飽 諸 島<br>} 玉 島 港 沖<br>(15哩) | 第1レース<br>三角(15哩)<br>第2レース<br>三角(12哩)<br>第3レース<br>三角(12哩)<br>第4レース<br>Lインショア<br>(60哩)                 |
| スタート  | 8/2(土)<br><br>22:00                      | 8/10(日)<br><br>09:30         | 8/12(火)<br><br>10:00 | 8/13(水)<br><br>07:00                     | 8/24(日)<br><br>09:00                       | 第1レース<br>9/14(土) 12:00<br>第2レース<br>9/15(日) 09:00<br>第3レース<br>9/15(月) 13:30<br>第4レース<br>9/21(日) 12:00 |

| レース名  | 牛窓町<br>カップレース                       | 小豆島<br>オートムレ<br>ガッタ      | 小豆島レース                                | 播磨灘レース                                       | 第29回<br>紀伊水道レース                        | 洲本~五ヶ所<br>湾レース             | 表 彰 式              |
|-------|-------------------------------------|--------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------|--------------------|
| 主 催   | 牛 窓 町                               | 小豆島・土佐<br>ヨットレース<br>実行委  | 支 部                                   | 支 部                                          | 支 部                                    | サントピアYC<br>ビーブル<br>オーシャンYC | 支 部                |
| 後 援   | 岡山フリート                              | 土庄町支部<br>クルージング<br>クラブ琴塚 | クルージング<br>琴塚                          | 的 形 Y C<br>木 場 Y C                           | サントピアYC                                | 支 部                        |                    |
| コ ー ス | 牛窓港外<br>} 播磨灘北西部<br>} 牛窓港外<br>(15哩) | 小豆島池田湾<br>} 三角(12哩)      | 琴 塚 沖<br>} 播磨灘中部<br>} 姫路市の形沖<br>(60哩) | 的 形 沖<br>} 播磨灘中部<br>(上島)<br>} 的 形 沖<br>(20哩) | 洲 本 沖<br>} 四国牟岐大島<br>} 洲 本 沖<br>(110哩) | 五ヶ所湾口<br>} 洲 本 沖<br>(110哩) | 神戸スカイ<br>} サントリービル |
| スタート  | 9/21(日)<br><br>10:00                | 10/5(日)<br><br>09:30     | 10/11(土)<br><br>22:00                 | 10/19(日)<br><br>10:00                        | 11/2(日)<br><br>10:00                   | 11/22(土)<br><br>07:00      |                    |

'86年 玄海支部レース日程表

| ポイントレース  |                               |                   |                  |                  |                               |                               |                               | 玄海ウィーク   |                   |                  |                   |                                         |
|----------|-------------------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------|-------------------|------------------|-------------------|-----------------------------------------|
|          | 1回                            | 2回                | 3回               | 4回               | 5回                            | 6回                            | 7回                            | レース名     | (A)<br>相の島レース     | (B)<br>沖の島レース    | (C)<br>大原杯レース     |                                         |
| 艇長会議     | 3/9<br>09:00                  | 4/13<br>09:00     | 6/8<br>09:00     | 7/13<br>09:00    | 9/14<br>09:00                 | 10/12<br>09:00                | 11/1<br>17:00                 | 艇長会議     | 4/13<br>09:00     | 9/14<br>09:00    | 11/1<br>17:00     | 5/3<br>16:00                            |
| コース      | 博多湾内                          | (A)<br>相の島レース     | オリンピックコース        | オリンピックコース        | (B)<br>沖の島レース                 | 博多湾内                          | (C)<br>大原杯レース                 | コース      | 小戸↓<br>相島↓<br>小戸  | 小戸↓<br>沖島↓<br>小戸 | 小戸↓<br>畿原         | 小戸↓<br>小呂島↓<br>烏帽子↓<br>小戸               |
| 会員登録料    | 5000                          | 5000              | 5000             | 5000             | 10000                         | 5000                          | 5000                          | 安規全則     | ORC-III<br>NORC-B | "                | "                 | 20000 (会員)<br>25000 (非会員)               |
| 安全規則     | ORC-IV<br>NORC-C              | ORC-III<br>NORC-B | ORC-IV<br>NORC-C | ORC-IV<br>NORC-C | ORC-III<br>NORC-B             | ORC-IV<br>NORC-C              | ORC-III<br>NORC-B             | 安規全則     | ORC-III<br>NORC-B | ORC-IV<br>NORC-C | ORC-III<br>NORC-B | 5000<br>2000                            |
| レーシングレーテ | 玄海支部レーティング                    | "                 | "                | "                | "                             | "                             | "                             | レーシングレーテ | 玄海支部レーティング        | 玄海支部レーティング       | 玄海支部レーティング        |                                         |
| ポイント     | 1位-15<br>2位-13<br>3位-12<br>…… | "                 | "                | "                | 1位-30<br>2位-26<br>3位-24<br>…… | 1位-15<br>2位-13<br>3位-12<br>…… | 1位-30<br>2位-26<br>3位-24<br>…… | 賞        | 1位<br>3位          | 1位<br>3位         | 1位<br>3位          | 各レース 1位<br>総合 1～6位<br>表彰式<br>5月4日 12:00 |

NORC 会員の皆様へ

## 会費納入についてのお願い

本部事務局

会員の皆様には、ご壮健の内に来るシーズンに備えて、何かと準備に怠りないことと推察致します。平素より会の運営に協力して戴き、深く感謝しております。

さて、昭和61年度年会費は、従来通り2月末日が納入期限と定められております。

就きましては、会費は会運営の源泉であることを、ご理解いただき下記料金を期限までに各支部事務局宛お払い込み下さるようお願い致します。なお、なるべく預金口座振替制度を利用されるようお願いいたします。

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 特別会員 | 20,000円               |
| 正会員  | 7,000円 (前号の4,000円は誤り) |
| 準会員  | 3,000円                |

60年度年会費未払いのため「除名対象予定者」として代議員会に報告された方でも、早急に60、61年度年会費を納入された場合は、除名を取消されます。

- 注) 1. 関東支部会員の方は、関東支部基金1,000円を合わせてお払い込み下さるようお願い致します。  
2. 預金口座振替制度を利用したい方は、各支部事務局へお問合せ下さい。

NORC 本部の銀行口座は

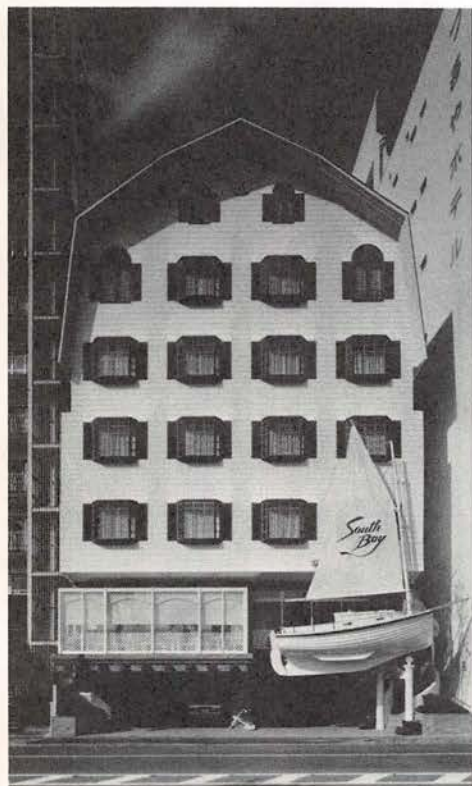
住友銀行東京公務部、普通預金289150社団法人。日本外洋帆走協会です。

⊗

OFFSHORE 第132号 昭和61年 3月15日発行  
2, 3月合併号 毎月1回15日発行  
昭和52年 7月21日 第三種郵便物認可  
1部定価300円 (郵送料45円)

発行 社団法人 日本外洋帆走協会  
東京都港区虎ノ門1-15-16 (船舶振興ビル4階)  
電話・東京03 (504) 1911~3 〒105  
郵便振替番号 2-21787

印刷 正進社印刷株式会社



## ガブリグ クルーザーが目じるしの ヨットマンのホテル

熱海海岸お宮の松前

*South Bay*

レストラン **CLINKER**

1名1泊朝食付 7,500円 36室85名  
大浴場、サウナのみご利用もどうぞ。

〒413 熱海市東海岸町6-49

TEL. 0557-81-4423